

2021年度
事業報告書・収支決算報告書
(2021年4月1日から2022年3月31日まで)

日本音楽作家団体協議会

(FCA)

《事業報告》

2021年度においても、新型コロナウイルス感染症の影響により行動制限等の制約を大きく受けた。「設立35周年という節目の年を来るべき時代に向けてFCAの存在と使命を広く示す起点にする」という2021年度事業の基本方針のもと、インタビューや音楽作家への正当な対価を求める意見表明を通じてFCAの存在や考え方を発信した。またアンケート（音楽作家の実態・意識把握調査）を実施して音楽作家が抱える問題の把握に努め、調査結果を報告書にまとめて公表した。

I 著作権の保護のための活動

1 意見表明の実施

音楽作家が直面する著作権に関する3つの課題として1私的録音録画補償金制度、2楽譜の無断コピーと無断配信、3音楽教室での演奏利用を取り上げて、音楽作家への正当な対価を求める意見表明を行った。

また石原信一会長、小六禮次郎理事長、渡辺俊幸顧問による意見表明の解説動画をHPに公開したほか、報道機関等300社に対しプレスリリースを行って、音楽作家への正当な対価の実現を広く訴えた。

2 国際的な取り組み（APMAの活動）

日本の音楽創作者団体の代表として、CIAM（国際音楽創作者評議会）の地域組織であるAPMA（アジア・太平洋音楽創作者連盟）の活動に参加している。今期、10人の執行委員が選出され日本から渡辺俊幸顧問が選任された。総会、執行委員会でバイアウト調査フェーズⅠ、Ⅱの実施と結果報告、アジア地域の音楽作家を巡る状況について共有された。

3 文化芸術の振興のための取り組み

文化芸術推進フォーラムの一員として、文化芸術振興議員連盟と連携して、文化芸術の創造・発展・継承に資する政策を提言している。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響に伴い深刻な打撃を受けた文化芸術関係者への支援を緊急提言として政府に強く求めた。

II 組織体制・財政基盤の強化のための活動

1 正会員団体との連携強化について

FCAの活動のほか文化芸術活動の各種支援事業や文化芸術関係者向け職域接種(ワクチン)に関する情報を正会員団体と逐次共有した。

2 会費について

正会員団体の会員数の将来推計を踏まえて会費の在り方について検討を開始した。**2022**年度中に結論を得て**2023**年度からの新制度への移行を目指す。

3 広報活動について

設立**35**周年を記念する以下の広報事業を実施した。

(1) 会長・理事長によるインタビュー動画の公開

役員改選にあわせ、石原信一会長、小六禮次郎理事長による**FCA**の活動と**2021**年度事業の解説動画「**FCA**のこれまでとこれから」を制作して**HP**で公開した。

(2) 意見表明と解説動画の公開

音楽作家が直面する著作権に関する**3**つの課題を取り上げて、音楽作家への正当な対価を求める意見表明を行い、解説動画を制作して**HP**で公開した。

(3) アンケートの実施と調査結果の公開

音楽作家の活動状況や抱える問題等を把握するため、正会員団体と連携してアンケート(音楽作家の実態・意識把握調査)を実施した。また日本音楽家ユニオン、一般社団法人**JDDA**(**Japan Dance Music & DJ Association**)、**JASRAC Creators' Club**に協力を要請して、正会員団体非加盟の音楽作家にもアンケート参加を呼びかけた。調査結果を報告書としてまとめたほか報告書の概要を解説する動画を制作して、それぞれ**HP**で公開した。

4 各委員会について

(1) 楽譜複製・複写問題対策委員会

楽譜コピー問題協議会(CARS)の一員として、楽譜の無断コピーを防止し適正利用を促進する啓発活動を行っている。今期、菅野由弘委員長が代表幹事に、織江りょう委員、松尾祐孝委員が幹事に選任された。今年度、**SNS**を活用した啓発活動や新型コロナウイルス感染症下の楽譜ユーザーの動向調査 (**WEB**アンケート) を実施した。

(2) 広報委員会

FCA設立**35**周年記念広報事業の全体計画を取りまとめた。アンケートの実施に当たり、会員作家へ周知や非加盟団体への協力要請等を行った。

(3) 著作権対策委員会

アンケート結果を踏まえ音楽出版者や制作者との契約等に関する諸問題について検討を行うべく、新たに同委員会を立ち上げた。

Ⅲ その他

1 役員の異動

6月10日、**2021**年度定時社員総会を開催して理事及び監事を選任した。また同日、臨時理事会を開催して代表理事となる会長並びに理事長、常任理事、顧問、委員会の委員を選定または選任した。

10月31日、新庄恭子理事が辞任された。**2022年1月31日**、山北由希夫監事が辞任された。同**3月5日**、坂口照幸理事が逝去された。

同**3月11日**、臨時社員総会を開催して新庄恭子理事の後任として望月吾郎理事を選任した。

2 新型コロナウイルス感染症への対応

人との接触機会を減らすため、リモートによる会議の開催、オンラインによる業務の実施を進めた。

3 仕向金融機関（送金元口座）の開設

住信**SBI**ネット銀行を仕向金融機関として利用することとし、**9月**に口座を開設した。

以 上

《収支決算》

I 収入について

1 会費収入

正会員**12**団体のすべてから会費の入金があった。賛助会員**1**社が**2021**年**3**月末をもって退会したため、予算を下回る実績となった。

II 支出について

1 事業費

文化芸術推進フォーラムに関連して会費以外に活動費が発生しなかったこと、**APMA**の**HP**の管理が会長団体の**KOMCA**に移管されたことから予算を下回る支出実績となった。

2 広報費

設立**35**周年を記念する各種広報事業を実施するため、事業ごとに委託事業者と委託契約を締結して費用を支出した。

3 交際費・交通費

新型コロナウイルス感染症の影響で関係団体懇親会や議連関連パーティが開催されなかったこと、関係団体の外部会議がオンラインで開催されたことから予算を下回る支出実績となった。

4 雑件費

役員の各種会議出席に係る車代・通信費を現金払いから振込に切り替えたため、振込手数料が増えて予算を上回る支出実績となった。**2021**年**9**月以降は振込手数料が安価なネットバンキングサービスを利用している。

5 図書費

書籍を購入しなかったため、支出実績はない。

III 資料

資料**1** **2021**年度収支予算実績対照表

資料**2** **2021**年度支出実績内訳

資料**3** 収支計算書

資料**4** 貸借対照表・財産目録

資料 1

2021年度収支予算実績対照表

〈収入の部〉

(単位：円)

科目	予算	実績	予算比
会費収入	5,200,000	5,100,000	98.1%
(正会員会費)	3,300,000	3,300,000	100.0%
(賛助会員会費)	1,900,000	1,800,000	94.7%
助成金	0	0	—
雑収入	0	0	—
利息収入	160	140	87.5%
前年度繰越金	15,572,731	15,628,945	100.4%
合計	20,772,891	20,729,085	99.8%

〈支出の部〉

(単位：円)

科目	予算	実績	予算比
会議費	1,515,000	1,450,800	95.8%
事業費	520,000	400,000	76.9%
広報費	5,205,000	4,564,795	87.7%
交際費	595,000	133,340	22.4%
交通費	43,000	3,772	8.8%
通信費	50,000	34,027	68.1%
印刷費	50,000	36,300	72.6%
雑件費	16,000	21,560	134.8%
消耗品費	22,000	22,000	100.0%
諸団体加盟費	400,000	400,000	100.0%
図書費	5,000	0	0.0%
法人関係費	100,000	80,000	80.0%
小計	8,521,000	7,146,594	83.9%
次期繰越金	12,251,891	13,582,491	110.9%
合計	20,772,891	20,729,085	99.8%

資料 2

2021年度支出実績内訳

(単位：円)

科目	内訳	予算額	
会費	出席者車代 定時総会・理事会(6月開催)	10,000 * 29名 * 1回	290,000
	理事会(12月開催)	10,000 * 23名 * 1回	230,000
	臨時総会・理事会(3月開催)	10,000 * 21名 * 1回	210,000
	常任理事会	10,000 * 4名 * 4回	160,000
	監事会	10,000 * 2名 * 2回	40,000
	諸委員会		
	広報委員会	10,000 * 延べ 8名	80,000
	通信費 常任理事会	10,000 * 3名 * 4回	120,000
	諸委員会		
	楽譜複製・複写問題対策委員会	10,000 * 延べ 8名	80,000
	広報委員会	10,000 * 10名 * 2回	200,000
	外部会議	10,000 * 1名 * 2回	20,000
	懇親会費 総会後懇親会飲食費		0
	謝金 会員団体事務局員への総会手伝い謝金	5,000 * 2名 * 1回	10,000
諸費 コーヒー、お茶等		10,800	
	会議費 計	1,450,800	
事業費	CARS 事業費分担分	400,000	
	啓蒙活動費(文化芸術推進フォーラム関連他)	0	
	CIAM/ APMA関連費用 (APMAホームページ管理費)	0	
	事業費 計	400,000	
広報費	ホームページ管理費用		
	保守管理費		136,920
	ページ作成・更新費		473,324
	広告掲載 (MPA名簿)		55,000
	設立35周年記念事業の実施		
	フライヤーの制作		20,120
	インタビュー「FCAのこれまでとこれから」		
	動画制作		140,884
	記事制作		33,411
	意見表明		
	動画制作		217,451
	記事制作		33,411
	プレスリリース委託費用		33,000
	アンケート「音楽作家の実態・意識把握調査」		
会員団体への協力金 (周知活動、 発送に係る事務経費の一部負担)	75,000 * 11団体	825,000	
調査委託費用		2,574,000	
動画制作		22,274	
	広報費 計	4,564,795	

2021年度支出実績内訳

(単位：円)

科目	内訳		予算額
交際費	慶弔費	祝金・生花（会員催事祝い） 弔慰金・弔花・弔電・見舞い	20,000*3回+16,500*4回 0
	参加費	他団体懇親会参加費	0
		議連関連パーティ参加費	0
		月例著作権研究会	0
	折衝費	内外関係者との打ち合わせ費用	7,340
		交際費 計	133,340
交通費	事務局交通費等		3,772
		交通費 計	3,772
通信費	郵便・宅急便等		34,027
		通信費 計	34,027
印刷費	封筒・名刺等		36,300
		印刷費 計	36,300
雑件費	振込手数料等		21,560
		雑件費 計	21,560
消耗品費	文房具等（JASRAC総務部に一括払）		22,000
		消耗品費 計	22,000
諸団体加盟費	CRIC会費		300,000
	文化芸術推進フォーラム会費		100,000
		諸団体加盟費 計	400,000
図書費	書籍等購入費		0
		図書費 計	0
法人関係費	租税公課	法人住民税均等割	70,000
	諸費	役員変更登記、各種証明書手数料	10,000
		法人関係費 計	80,000
		小計	7,146,594
次期繰越金	2021年度支出残金		13,582,491
		繰越金 計	13,582,491
		総合計	20,729,085

資料3

収 支 計 算 書

自 2021年4月 1日

至 2022年3月31日

(単位:円)

科目	金額	科目	金額
(収入)		(支出)	
前期繰越金	15,628,945	会議費	1,450,800
会費収入	5,100,000	事業費	400,000
助成金収入	0	広報費	4,564,795
雑収入	0	交際費	133,340
利息収入	140	交通費	3,772
		通信費	34,027
		印刷費	36,300
		雑件費	21,560
		消耗品費	22,000
		諸団体加盟費	400,000
		図書費	0
		法人関係費	80,000
		次期繰越金	13,582,491
合計	20,729,085	合計	20,729,085

資料4

貸借対照表

2022年3月31日現在

(単位:円)

借方(資産の部)		貸方(負債および資本の部)	
科目	金額	科目	金額
流動資産	13,582,491	流動負債	0
普通預金	13,582,491	正味財産	13,582,491
資産合計	13,582,491	負債および資本合計	13,582,491

財産目録

2022年3月31日現在

(単位:円)

資産の部			
科目	適用	金額	
流動資産	銀行預金	普通預金(三菱UFJ銀行 代々木上原支店)	12,330,638
		普通預金(住信SBIネット銀行 法人第一支店)	1,251,853
		流動資産合計	13,582,491
	資産合計	13,582,491	